

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 高知市立一ツ橋小学校		校長	川村 靖	教員数	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計	
		道徳教育 推進教師	中村 志乃	20		児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
						65 (2)	3	58 (1)	2	58 (2)	2	46 (1)	2	55	2	61 (1)	2	343 (7)	13 (2)
研究テーマ		道徳性を育み、よりよく生きよとする力を育てる道徳授業の創造～かかわり合い、見つめ直し、行動につながる道徳科の授業づくり～																	
年度当初の学校の状況(5月調査を記載)		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(2月)		到達目標達成状況					
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的割合の向上												現状		肯定%	
① 道徳の勉強は、すきだ		83.1%		① 道徳の学習に対する意識を90%以上にする。												①			
② 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		83.7%		② 「自分のことについてよく考えている」を90%以上にする。												②			
③ 家の人と道徳の話をして、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりしている		52.0%		③ 家の人と道徳に触れることを85%以上にする。												③			
④ 自分には、よいところがあると思う		81.1%		④ 「自分には、よいところがあると思う」を90%以上にする。												④			
⑤ 将来の夢や目標をもっている		89.8%		⑤ 「将来の夢や目標を持っている」を95%以上にする。												⑤			
⑥ 人が困っているときは、進んで助けている		87.5%		⑥ 「人が困っているときは、進んで助けている」を90%以上にする。												⑥			
⑦ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		85.4%		⑦ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」を90%以上にする。												⑦			
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)														指標達成状況の分析			
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)						達成状況		年度末評価				
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	① 校内で毎月1回以上、道徳研究部会をもち、進捗管理を行う。 ② 各学年の年間計画、別業に基づく取り組みの検証を行う。 ③ 道徳教育推進教師や管理職が、全学級の道徳科の授業を参観する。	① 道徳教育の全体計画(別業)と、各学年の道徳科の年間指導計画の見直し、作成をする。 ② 管理職、道徳推進教員が全道徳科の授業を参観できる体制の構築をする。 ③ 道徳科の趣旨を踏まえた評価の研修会を行うため、講師の招聘を計画する。 ④ 8月の道徳教育指導者養成研修への参加をする。					① 道徳教育の全体計画(別業)と、各学年の道徳科の年間指導計画の実践する。 ② 管理職、道徳教育推進教師による道徳科の授業の参観・指導・評価を行う。 ③ 講師を招聘し、道徳科の趣旨を踏まえた評価の研修会を行い、評価についての理解をより一層深める。 ④ 意識調査結果の検証を踏まえ、取り組みの改善を行う。												
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	① 道徳授業チェック【教師用】、【児童用】を3以上にする。 ② 公開授業研において案内を行い、授業についての意見をもらう。	① ブロックで授業研究を1回行い、指導方法や評価について話し合う。 ② 学習指導案、教具、板書写真、(ワークシート)などの整理、保管をする。 ③ 道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果および、個人内評価に係る協議、授業改善策の検討などを行う。 ④ 他校(道徳科指定校など)の公開授業に参加し校内報告会を行う。					① 1学期に授業を行わなかった学年が、ブロックで授業研究を行う。指導方法や評価について話し合う。 ② 学習指導案、教具、板書写真、(ワークシート)などの整理、保管をする。 ③ 道徳授業チェックシート(全教師、全児童)の結果および、個人内評価に係る協議、授業改善策の検討などを行う。 ④ 他校(道徳科指定校など)の公開授業に参加し、校内報告会を行う。 ⑤ 通知表の道徳科の評価について検証を行う。												
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	① 講師を招聘して研修を行い、評価の仕方を共有する。 ② 学期末の個人懇談で学習状況や、道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。	① 講師を招聘する計画を立てる。 ② 道徳ノートやワークシート、発言の記録を活用したり、行動の観察を行ったりして、学習状況や道徳性を把握し、学年で評価について検討する。 ③ 校内で評価の仕方を共有する。					① 講師を招聘し、評価についての研修を行い、評価の意義や評価方法について、教職員の意思疎通を図る。 ② 道徳ノートやワークシート、発言の記録を活用したり、行動の観察を行ったりして、学習状況や道徳性を把握し、学年で評価について検討する。 ③ 校内で評価の仕方を共有する。												
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	① 全学級道徳科の授業公開による参観日を実施する。 ② 学校便りや道徳便りを取り組みなどの発信をする。	① 1日参観日に道徳の公開授業を全学級で行う。 ② 地域の方や保護者と児童と一緒に学習する参加型の道徳科授業や、地域の方に感謝する気持ちを育てる道徳科の授業を行う。 ③ 道徳便りで各学年の道徳の授業の様子を紹介する。					① 地域の方や保護者と児童と一緒に学習する参加型の道徳科授業や、地域の方に感謝する気持ちを育てる道徳科の授業を行う。 ② 道徳便りで各学年の道徳の授業の様子を紹介する。												

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)